

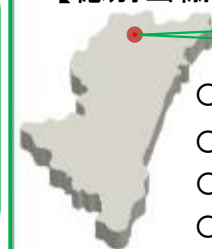
子や孫に素晴らしい棚田の景観をつなぐ取組

「地域愛を育むことから将来への繋がりに発展」

とくべっとう

徳別当棚田受託組合(高千穂町)

【徳別当棚田受託組合の概要】



宮崎県 高千穂町

○設立: 令和2年9月

○受託内容: 水稲作の部分

○オペレーター: 3名

○構成: 16戸

【これまでの経緯】

多面的機能支払制度を活用し
「徳別当棚田を守る会」を設立

- 急傾斜地で足場が悪く、畔の草刈りや水路・農道等の保安全管理が困難になっていた。
- 高齢化や担い手不足により、稲作経営をやめる農家が増加し、管理の行き届かない農地が散見。
- 平成27年に「徳別当棚田を守る会」を設立。水路の整備や草刈り作業等を実施し、農地保全を行った。



徳別当棚田

【取組内容】

中山間地域等直接支払交付金等を活用し
「徳別当棚田受託組合」を設立

- 令和2年に「徳別当棚田受託組合」を設立。畔塗り、防除、刈取脱穀、乾燥等個々の農家ではできない作業を請け負うことにより、棚田の保安全管理につなげている。
- 町内外に居住する徳別当棚田に縁のある子ども世帯に声をかけ、2aの棚田で田植えや稲刈り体験会を実施。
- 受託組合独自で、鳥獣捕獲経費の補助を行うなど効率的な体制が構築されており、農作物の被害は減少し、地域住民に喜ばれている。



所有するコンバイン・乾燥機等

【課題や展望】

未来のある若者に農業体験をしてもらい
地域愛を育むことで後継者を育成

- 農業者のみならず、非農業者の方々にも農地保全活動等に関わってもらうことにより、地域の活性化を図る。
- 地域に縁のある子どもたちが、農作業を体験することによって、農地を守ることの大切さや地域の良さを実感してもらい、「鮭が生まれた川から大海に出て、やがて生まれた川に帰って来る」ごとく、農業後継者育成に繋がることを期待。



田植え体験の子供たち